

第4回瀬谷区地域福祉保健計画策定懇談会 議事録

日時	平成27年3月5日(木) 午後3時から5時まで
場所	区役所5階大会議室A B
出席者	名和田氏、岡田氏、川口氏、辻村氏、山口氏、網代氏、清水氏、福田氏、森谷氏、土居氏、岸本氏、杉野氏、米倉氏、伊藤氏、中野氏、宮原氏、宮田、板坂
欠席者	奥津氏、諸橋氏、高橋氏、永嶋氏、瀧澤氏、大塚氏、北井氏
	<p>1. 第3回地域福祉保健計画策定懇談会の振り返り (資料1) 事務局から第3回地域福祉保健計画策定懇談会の議事録により説明。 事務局 議事録について修正等があれば3月15日までに事務局に連絡してほしい。</p> <p>2. 地区別計画策定指針について (資料2、3) 事務局から最終版「地区別計画策定・推進にあたって」について説明。 事務局 この最終版をもとに2月10日(火)に自治会町内会・地区社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会の代表を対象に研修会を開催した。 事務局(小清水事務局長)から地区別計画推進研修会報告について説明。</p> <p>3. 団体ヒアリングの結果について (資料4) 事務局(齋藤運営企画係長)から団体ヒアリングの結果について説明。</p> <p>4. 第3期全域計画案について (資料5、6) 事務局(齋藤運営企画係長)から第3期全域計画案について説明。 <質疑応答> ◆2章第3期計画(P13~)を中心に意見交換をしていきたい。事務局案の3つの基本目標それぞれについて、実現のための取組を5つの視点に基づいて設定している。 ◆計画の対象者が第2期計画と同じように「支援を必要とする人やその家族だけでなくすべての人」と説明しているが、第3期は「すべての人」だけでよいのではないか。 全域計画と地区別計画の関係性について、全域計画は地区別計画を支える計画であると説明しているが、区全体に共通する課題に対する取組という説明も加えるべき。 基本目標Ⅰでは隣近所での見守り、支え合いが強調されているが、見守り合って顔を合わせているだけでは助け合えないこともある。公営住宅の避難用のはしごを扱えない、避難経路に物が置きっぱなしなどの状況があるので、本来大切な一人ひとりの備えという面にも触れてほしい。 基本目標Ⅱ「健康で長寿な地域づくり」の説明で、検診等の受診率が市内でも低い割合となって</p>

いるとあるが、もっと詳しく説明した方がよい。

また、認知症や障害のある方への理解と支え合う仕組みづくりについても取り組んでいかなければならないのではないかと。認知症の方は今後増えていくので大きな課題である。

- ◆基本目標Ⅰ「見守り、支え合う地域づくり」の説明の中に、地域の人同士がお互い関心を持ち合う、近所で赤ちゃんが育つことを喜び合うなど、もう少し積極的なイメージが言葉として表現されると支え合うことの内実が共有できる。

13 ページ以降について、懇談会での意見、団体ヒアリングの意見が入っているのがとてもよくできていると思う。視点⑤「情報」についての部分では、懇談会で出た意見が十分反映されていない。情報に関する課題は懇談会で多く出たと思うので、反映させてほしい。例えば、「自分から困ったと発言できない人への対応が必要」等という意見もあったはずである。「子育てについては懇談会、団体ヒアリングともに活発な意見が出ているので、それに合わせたボリュームが欲しい。

- ◆13 ページ基本目標を実現するための5つの大切な視点について、4番目の「ネットワークを構築し」という文言の意味が分かりにくい。次に説明を読み進めれば分かるが、他と同じように分かりやすいように揃えることが必要ではないか。

- ◆視点④には、団体、行政、公的機関の連携が含まれる。

- ◆7 ページ策定懇談会意見の中で、「見守りは隣近所の範囲が有効」とあるが、班、組、などもう少し広い範囲の見守り・支え合いも必要ではないかという意見があったと思う。なぜならば、狭い範囲だと高齢者のみの家庭が隣り合わせになり、普段の見守り・声かけはできるが、いざという時の助け合いは難しいのではないかと考えられるから。

基本目標Ⅱの「健康づくり」を受けて、瀬谷は農業が盛んなところであり、伝統的な農業従事者も多数がんばっておられるが、農業を自分で続けられないところを公に借りて希望する人に区割りして貸し出すという活動も必要なのではないかと。それによって農業に関わってみようという人が多数いるのだと思う。

- ◆後半の意見は22 ページの視点③に入れてもいいのではないかと。前半の意見について、地区別計画の取組は単位自治会・組まで活性化していくことが第一期からの課題であったため、別の形で書いていただきたいと思う。

- ◆健康で長寿な地域づくりを目標に挙げて、力を入れていることはよく分かるが、横浜市全体で取り組んでいる「ウォーキングポイントラリー」や「健康スタンプラリー」にも一言も触れていただきたい。また、健康診断の受診率が低いと書いてあるが、どのように引き上げていくのかが見えてこない。

- ◆19 ページの視点④ネットワークの部分について。支援をしたいという気持ちがありながらも非力である、個人や所属団体だけではヒントすら見つからなかったり、ヒントがあっても手だてが無かったりする。支援したい側の相互支援、後方支援とでもいう次の支援策がつながっていくとどんどん支援が広がっていくと思った。

- ◆具体的なイメージが湧くような具体的な場面の表現などがあるとよいと思った。19 ページの説明のところにあるとよい。

- ◆視点④「ネットワークの構築、強化」について、ネットワーク自体は第3期では構築されている

という前提で書いた方がよいのではないかと。これまでできている団体、地域などの関わりを第3期に入ってさらに深めて連携するという具体的な書き方のほうが発展的ではないかと思った。

◆「構築し」、という文言も分かりにくさの原因である。

◆13 ページの視点①の説明について。「様々」という言葉が3回でてくる。もう少し整理が必要ではないか。

様々な立場や環境についての説明があるが、介護しているという立場より、どのような環境で介護しているかがもっと重要。環境についての説明をもっとした方がよい。

一人ひとりの個性や立場の尊重、というところで、尊重するのは自己決定のことか。中には、自己決定できない人もいる。そのような人を1人にしないで、どのように共に課題に取り組み、答えを出していくかが難しい。

◆自己決定は福祉の基本である。自己決定できるように周りも専門家も支えなければならない。永遠の課題でもある。地域福祉の中でもそういった考え方を表現すべきである。環境はどこのことか（13 ページ）。共助の世界でも質の高さが求められる。

◆団体ヒアリングに参加した。他に参加した NPO の方たちの中では、小さな地域の中に入って意見をつないでいくことが難しいので、子育て世代に近く、寄り添い見守っている人たちが地域の中でその声を代表できるような人がいてほしいという意見が共通して出た。比較的地域の中に関わっていける立場である主任児童委員のような立場の人がもっといてほしいという意見があった。そのような意見を 12 ページに団体ヒアリングの意見として追加してほしい。

7 ページと 19 ページに地域の見守りと区役所が連携できていないと書かれているが、連携ができていない訳ではなく、更に必要である、ということ。また、主任児童委員だけではなく、子育てに関わる地域の人たちと区役所の関わりがよりいっそう大切であるというニュアンスである。既存のネットワークがさらに生かされるようになるとういような思いではないかと認識している。できていない、という否定的な表現でない方がよい。

◆15 ページの視点②「幅広い世代や人の参加」の説明は、他の視点の説明と比べると、課題についての記載ばかりで、解決すべきヒントが書かれていない。地域で一番悩んでいることである。これだけでは、これからどのように取り組んでいけば良いか分からない。

◆今までの議論や団体意見のなかで、こどもたちに働きかけると親が出てくるとか、学校との連携や企業との連携など、参考となる意見があったのではないかと。

◆参考になる地域の事例を記載したら良いのではないかと。

◆15 ページ視点②の説明の中で、「参加者が減少している」「いつも同じ顔ぶれ」とあるが、必ずしもそうではない。様々な努力で今まで参加のなかった人々が参加しているような地区もある。そのため、参加が進んでいるけれど、さらに進める必要があるという表現がよい。資料 2 「地区別計画策定・推進にあたって」の中で紹介しているような各地区の取組事例を載せてもよいのではないかと。

◆この書き方で、こういうことが出来ているところがあり、そのポイントは何かを入れて先ほどの各論的な所に入れたらよいのではないかと。

◆8 ページ基本目標Ⅱ「健康づくり」の説明の中に『食』に関する取組」と記載があるが、ヘルスメイトも高齢者やこども対象とした事業等で地域の活動に貢献している。そのようなこともぜひ

	<p>書いてほしい。</p> <p>◆22 ページに記載される具体的な取組の中で「食育」にも触れていくことになるだろう。また 23 ページに記載される人材育成の取組とも関わってくるのではないかな。</p> <p>◆4 月に施行される生活困窮者自立支援法にも触れておく必要があるのではないかな。瀬谷区では、貧困の連鎖を断ち切るための取組として、隼人高校の生徒が中学生への学習支援をしている。そのような良い取り組みに触れてほしい。</p> <p>同じく 4 月から施行の子育て三法についても触れる必要がある。</p> <p>◆既に出てきていることであって、その上でどのように展開するかという話である。もう一度事務局で案を作ることになるので、またよろしくお願ひしたい。</p> <p>5. 第 3 期瀬谷区地域福祉保健計画のサブタイトルについて 資料 7</p> <p>事務局 次回 6 月 25 日に事務局からいくつかのサブタイトル案をご提案するので、皆さんの方でこれはというのを選んでいただきたい。8 月に計画についての区民意見募集の際にサブタイトルについても複数案を提示し、区民の意見を募る。区民が自由に書ける欄をもうけていく。</p> <p>6. その他</p> <p>次回 6 月 25 日 (木)</p> <p>次次回 10 月 1 日 (木)</p> <p>7 回最終回 12 月 17 日 (木) 最終案確定</p> <p>事務局 ご意見ありがとうございます。色々と議論してきたがなるほどという指摘も多かったので、次回までに頑張ってみたい。またご意見をいただきたい。今年度最後の懇談会なので区長から挨拶させていただきたい。</p> <p>事務局 貴重な意見をありがとうございます。来年度が地区別計画の策定、全域計画確定になるので、引き続きよろしくお願ひしたい、今年度はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
次回	平成 27 年 6 月 25 日 (木) 14 時～16 時 瀬谷区役所 5 階大会議室 A B
資料	<p>資料 1-1 第 3 回瀬谷区地域福祉保健計画策定懇談会 議事要旨</p> <p>資料 1-2 第 3 回瀬谷区地域福祉保健計画策定懇談会 議事録</p> <p>資料 2 地区別計画策定・推進にあたって</p> <p>資料 3 地区別計画推進研修会報告</p> <p>資料 4 団体ヒアリング結果について</p> <p>資料 5 第 3 期瀬谷区地域福祉保健計画全体像</p> <p>資料 6 第 3 期全域計画案</p> <p>資料 7 第 3 期瀬谷区地域福祉保健計画のサブタイトルについて</p>